

## 18. 弱視児童・生徒に副教材・演習問題の拡大写本を提供する

|       |                 |
|-------|-----------------|
| グループ名 | 全国拡大教材製作協議会世話人会 |
| 代表者   | 佐藤邦隆            |

### 1. 活動の目的

弱視児童・生徒の“学習環境をトータルに整備”するよう支援することが目的である。拡大教科書は平成16年度から無償給与が実現したが、学習上の必要性はほぼ同等なのに拡大副教材・演習問題などは提供されていない。この差別を解消する。

### 2. 活動概要

#### ◇ 活動の背景

弱視児童・生徒一人一人の見え方に適合した拡大副教材・演習問題集などは、平成23年度の教科書バリアフリー法が施行された後も提供されず学習上不公平になっている。著作権や改変の許諾の難しさ及び原本の20倍もの実費の過負担のため、ボランティアもほとんど対応できていない。この状態から抜け出して、平等公平な負担で提供して、継続的に弱視児童・生徒を支援する必要がある。

#### ◇ 製作体制の編成

多様で複雑な編集の副教材については拡大教科書とは違う点が多く未経験領域となるため、新しい「拡大副教材の製作の参照モデル」を示すことが必要と認識し、全国拡大教材製作協議会世話人会の10名がまとめ役となり、会員の中から、拡大教科書の経験度合、拡大の編集技術レベル、人などを考慮して3グループを選び、副教材拡大の製作体制を編成した。Aグループ（16名れんげの会）、Bグループ（4名「さわやか」）、Cグループ（40名四街道拡大写本の会）が密接な連携のもと進めることとした。

#### ◇ 利用者と拡大本の種類

弱視児童・生徒はその存在が広域に点在していることから、利用を希望する児童・生徒と製作するボランティアグループを橋渡しすることがなかなか困難であるが、協議会に要望が届いていた中から利用者と対象教科を次の通り選択した。

（26年度（後期）用）

- ① 小学5年生(盲学校生東北) 2名 各1教科 製作仕様：26p 白黒反転
- ② 中学1年生(通常学級生東京) 2教科3書籍 製作仕様：40p ゴシック

（27年度用）

- ③ 小学6年生（盲学校生東北）2名 各1教科 製作仕様：26p 白黒反転

④ 中学2年生(通常学級生東京) 5教科7書籍 製作仕様：30P 学参丸ゴシック  
 対象弱視児童・生徒は延べ6名、原本は全部で12書籍(+付録1)、原本の版の大きさは、A4版が7書籍、B5版が4書籍、B6版が1書籍で、総ページ数 1480頁(+付録96頁)ある。

◇ 実施時期

要望があつて緊急を要する26年度後期分を夏に着手した。その製作と並行して26年11月には、27年度分について、利用者と保護者、学校(校長、教頭、教科書担当教諭)それにボランティアグループの3者による製作仕様の打ち合わせをスタートした。

◇ 成果

- ・小学5年生 拡大製作仕様：26p 白黒反転 40頁/1分冊  
 道徳 ゆたかな心5 (光文書院) B5・144頁 A4版6分冊(\*2名)
- ・中学1年生(26年度) 拡大製作仕様：40p ゴシック 50頁/1分冊  
 英語 中学必修テキスト 英語1年(文理) A4・152頁 A4版 27分冊  
 英語 基礎固めの単語1440+400(啓林) B6・223頁 A4版 24分冊  
 (ただし、拡大製作は46頁から178頁まで133頁 A4版 拡大1,470頁)  
 国語 解いて覚える中学生の文法 とうほう B5・113頁 A4版 19分冊  
 計 82分冊
- ・小学6年生2名 製作仕様：26p 白黒反転 40頁/1分冊  
 道徳 ゆたかな心6 (光文書院) B5・146頁 A4版 6分冊(\*2名)
- ・中学2年生 製作仕様：30P 学参丸ゴシック 50頁/1分冊 A4版  
 国語 漢字の練習 (学校図書) B5・72頁 A4版5分冊  
 国語 標準新演習国語 (学校図書) A4・184頁 A4版17分冊  
 社会 iワーク歴史 I (育伸社) A4・24頁 A4版10分冊  
 社会 iワーク歴史 II (育伸社) A4・24頁 A4版10分冊  
 理科 Win Pass 理科 2(文理) A4・256頁 A4版24分冊  
 数学 新中学問題集 数学2年2ndEd B5・192頁 A4版20分冊  
 英語 中学必修テキスト 英語2年(文理) A4・184頁 A4版31分冊  
 付録 単元テスト 英語2年 A4・96頁 (上記に含む)  
 (但し 英語は40p ゴシック) 計 129分冊

製作した拡大写本は、A4版で50頁/1分冊を基準にして、全体で211分冊(総頁数約1万頁)となった。

◇ 拡大副教材の完成写真の例



四街道拡大写本の会 歴史



◇ 課題とその対処

課題は、著者や出版社から副教材の原本の取得了解の取り付けや、拡大改変許諾の取り付けの困難さと煩雑な事務である。原本は、市販していないことがほとんどで、一般人は購入が不可であることから、この課題は相当重いものと予想されていたが、学校（の先生）が理解して参加し出版社等との交渉を引き受けてくれた結果、一部の教材（美術）を除いては、先生からの申請があれば出版社は了解することが今回の製作プロセスで判明した。著作権許諾と原本入手の課題が解決したことは参照モデルとして今後のために大事な成果の一つである。

◇ 助成金の効果

過大な費用負担が足かせとなり、副教材の拡大本は、利用者はあきらめざるを得ない状態である。利用者の負担軽減は、いわば永遠の課題であり続けるものだが、この度の大同生命厚生事業団の助成のおかげで解決の糸口ができた。拡大副教材を制作するための参照モデルが出来て、全国のボランティアグループが製作体制を考慮する際の良い判断材料ができた。多様な編集形態の副教材ゆえに遠慮していた利用者にとって負担の事前予測が可能になり、要望も顕在化しやすくなった。多様な見え方をする弱視児童・生徒に合わせた提供に関して、今後の努力への道筋ができた効果が大きい。

### 3. 決算報告

| 副教材名           | 出版社  | 版      | 分冊  | グループ名 | 製作費      |
|----------------|------|--------|-----|-------|----------|
| ゆたかな心(新しい道徳 5) | 光文書院 | A<br>4 | 12  | Aグループ | ¥4,980   |
| WORD NAVI 1800 | 啓林館  | A<br>4 | 24  | Aグループ | ¥19,200  |
| 解いて覚える中学生の文法   | とうほう | A<br>4 | 19  | Aグループ | ¥15,770  |
| 中学必修テキスト 英語 1年 | 文理   | A<br>4 | 27  | Aグループ | ¥20,250  |
| 漢字の学習          | 学校図書 | A<br>4 | 5   | Cグループ | ¥4,250   |
| 標準新演習国語        | 学校図書 | A<br>4 | 17  | Cグループ | ¥14,450  |
| iワーク歴史 I       | 育伸社  | A<br>4 | 10  | Cグループ | ¥8,500   |
| iワーク歴史 II      | 育伸社  | A<br>4 | 10  | Cグループ | ¥8,500   |
| WinPass 理科2    | 文理   | A<br>4 | 24  | Cグループ | ¥20,400  |
| 新中学問題集数学中2     | 教育開発 | A<br>4 | 20  | Bグループ | ¥17,000  |
| 中学必修テキスト 英語 2年 | 文理   | A<br>4 | 31  | Aグループ | ¥26,350  |
| 付録 単元テスト       | 文理   | A<br>4 |     | Aグループ |          |
| 小学6年道徳副教材      | 光文書院 | A<br>4 | 12  | Aグループ | ¥5,100   |
| 合計             |      |        | 211 |       | ¥164,750 |

#### \*その他

この後、小学校低学年生2名から、3教科の拡大副教材の要望が届き他の3グループで製作をし、協議会内での横展開もあった。児童・生徒たちからは、良く見えてうれしいとの感想が寄せられている。

以上